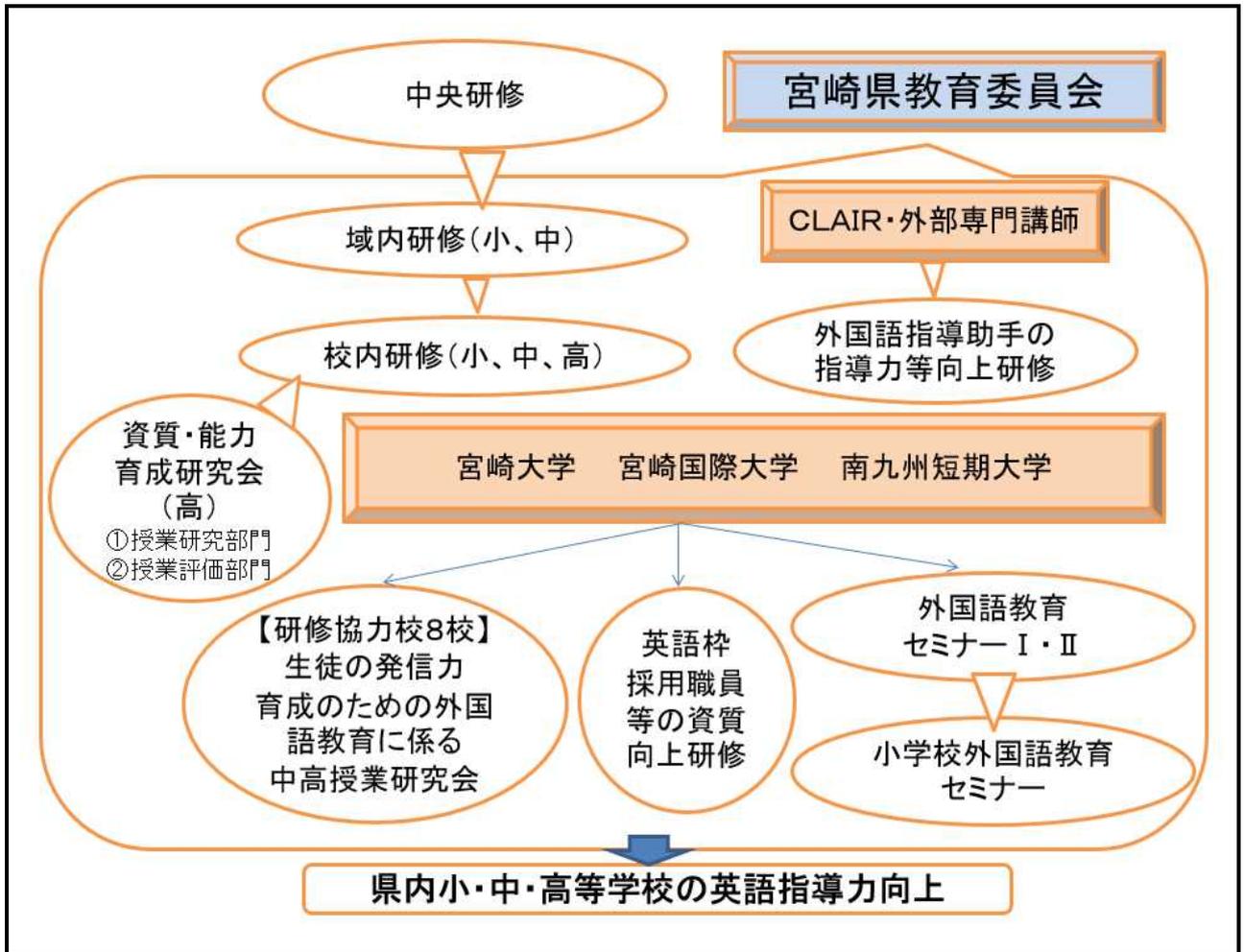


(様式3-2)

# 宮崎県英語教育改善プラン

## 実施内容

## (1) 研修体制の概要



## (2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

## ① 求められる英語力を有する教員の割合

## 【中学校】

ア 現状（英検準1級以上）38.3%

イ 目標 H31:40%

ウ 課題 国や県の目標とする50%の取得に達成していない。

エ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知

域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験推進

## 【高等学校】

ア 現状（英検準1級以上）88.6%

イ 目標 H31:90%

ウ 課題 県の目標とする90%の取得に達成していない。

エ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知

教師の英語力を測る外部検定試験の受験の周知及び実施

## ② 求められる英語力を有する生徒の割合

## 【中学校】

ア 現状（英検3級以上）38.6%

イ 目標 H31:45%

ウ 課題 英検の取得率そのものは高まっているが、教師がCEFR A1相当と判断する生徒の

数が昨年度を下回っていた。

- エ 手立て 生徒の英語に対する興味・関心を高める授業を行い、資格取得への意欲を高め、英検の受検者を増やす。また、成果を上げている学校や地域の取組を研修等で紹介し、県全体として英語力の向上へとつなげていく。

【高等学校】

- ア 現状（英検準2級以上）39.9%

- イ 目標 H31：42%

- ウ 課題 CEFRA2レベル相当以上を取得している割合は昨年度より高いが、教師がCEFR A2レベル相当と判断する数が昨年度より下がっている。

- エ 手立て 発信能力育成のための中高合同研修会において、研修参加者がそれぞれの学校で行った授業実践報告を行い、定期テスト問題を持参させ、協議を行うことで、県全体の授業改善に係る研修を充実させる。

- ③ 「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（（1）設定、（2）公表及び（3）達成状況の把握等の状況）

【中学校】

- ア 現状（1）100%（2）79.3%（3）49.2%

- イ 目標 H31：（1）100%（2）90%（3）60%

- ウ 課題 設定率・公表率・達成状況の把握率ともに改善が見られるが、特に達成状況の把握率については改善が必要である。

- エ 手立て H31年度の発信力育成のための外国語教育に係る中高合同研修会に全ての中学校から1名以上参加し、その際、各学校で作成したCAN-DOリストと設定・公表・達成状況に係る報告書の提出を求める。

【高等学校】

- ア 現状（1）100%（2）46.8%（3）59.6%

- イ 目標 H31：（1）100%（2）50%（3）65%

- ウ 課題 設定率・公表率・達成状況は改善が見られるが、達成状況の把握率については改善が必要である。

- エ 手立て 中高合同研修会の中高別協議において、次期学習指導要領を踏まえた、CEFRに準拠したCAN-DOリストの作成の説明、そして活用のための協議を行い、3月中旬までに提出するよう依頼する。集約後、次年度の研修会、そして県立学校教育課程研究協議会において結果を報告し、公表と達成状況の把握について意識を喚起する。

- ④ 授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

【中学校】

- ア 現状 75%

- イ 目標 H31：80%

- ウ 課題 半数未満の時間、英語の言語活動を行っている学校の割合が減少していない。

- エ 手立て 域内研修や中高合同研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにする。また、各研修会での、演習・協議を通して、生徒の英語での言語活動を充実させるための指導に対する参加者の理解を深める。

【高等学校】

- ア 現状 44.0%

- イ 目標 H31：47.0%

- ウ 課題 普通科系専門学科の数値は高い。専門学科及び総合学科よりも普通科の数値が低い。

- エ 手立て 域内研修や発信能力育成のための授業研修会、及び高等学校英語研究会が毎年発行する「英検宮崎」に寄稿し、英語教育実施状況調査の結果について公表し、各学校

の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにし、授業改善につなげる。また、上記研修会において各校のパフォーマンステストの実施内容について検証を行う。

⑤ 「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

【中学校】

- ア 現状 スピーキングテスト 2. 5回  
ライティングテスト 1. 6回
- イ 目標 H3 1 スピーキングテスト 3. 0回  
H3 1 ライティングテスト 3. 0回
- ウ 課題 スピーキングテスト、ライティングテストの両方を行っていない学校が、少数ではあるが依然としてある。
- エ 手立て CAN-DOリスト等を基に、ペーパーテストだけでなく、話すこと、書くことに関するパフォーマンステストが計画的に実施されるよう研修等で啓発を行っている。

【高等学校】

- ア 現状 スピーキングテスト コミュ英Ⅰ 2.7回 コミュ英Ⅱ 2.5回 コミュ英Ⅲ 0.6回  
英語表現Ⅰ 1.2回 英語表現Ⅱ 0.5回  
ライティングテスト コミュ英Ⅰ 1.1回 コミュ英Ⅱ 1.2回 コミュ英Ⅲ 0.5回  
英語表現Ⅰ 1.6回 英語表現Ⅱ 1.2回
- イ 目標 スピーキングテスト コミュ英Ⅰ 3回 コミュ英Ⅱ 3回 コミュ英Ⅲ 1回  
英語表現Ⅰ 2回 英語表現Ⅱ 1回  
ライティングテスト コミュ英Ⅰ 1.5回 コミュ英Ⅱ 1.5回 コミュ英Ⅲ 1回  
英語表現Ⅰ 2回 英語表現Ⅱ 2回
- ウ 課題 高学年で扱う科目、特にコミュニケーション英語Ⅲの数値が低い。
- エ 手立て 発信能力育成のための授業研修会において、パフォーマンステストの在り方について、大学教授等と連携して講義・演習を行い、CAN-DOリストと関連したパフォーマンステストの在り方について理解を深める。

⑥ 授業における、英語担当教員の英語使用状況

【中学校】

- ア 現状 72. 5%
- イ 目標 H3 1 : 75%
- ウ 課題 教師の英語の使用状況については、学校差が見られる。
- エ 手立て 域内研修や中高合同研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにする。また、中高合同研修会の研究授業をもとに、英語を用いた指導の在り方についての演習・協議を行うことで、英語使用状況のさらなる促進につなげる。

【高等学校】

- ア 現状 48. 3%
- イ 目標 H3 1 : 55. 0%
- ウ 課題 教員の英語力に対して、どの学科においても英語使用状況が低い。
- エ 手立て 域内研修や発信能力育成のための授業研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況を比較させる。また、県事業における授業研究部門において、英語教育推進リーダーの公開授業を通じて、英語使用状況のさらなる促進につなげる。

## ⑦ 研修実施回数、研修受講者の人数

## 【小学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 13回・740名

イ 目標 H31：13回・740名

ウ 課題 研修の回数だけでなく、研修の質を高める必要がある。

エ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、英語教育推進リーダーの積極的な活用により市町村教育委員会での研修を充実させる。

## 【中学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 5回・354名

イ 目標 H31：6回・360名

ウ 課題 県教委が主催する研修会については、参加者から概ね満足のいく結果が得られている。今後、英語教育推進リーダーの活用について検討していく必要がある。

エ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、英語教育推進リーダーの積極的な活用により市町村教育委員会での研修を充実させる。

## 【高等学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 11回・217名

イ 目標 H31：6回・90名

ウ 課題 域内研修が今年度で終了するが、先生方の授業改善を更に推進するため、引き続き英語教育推進リーダーの活用について検討していく必要がある。

エ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、県事業（授業研究部もP  
ン・評価問題研究部門）において、英語教育推進リーダーの積極的な活用により、各校における授業改善を推進させる。

## (3) 研修の体系と内容の具体

外部専門機関：宮崎大学教育学部、宮崎国際大学国際教養学部、南九州短期大学国際教養学科との連携を通じた研修の充実

## (1) 外国語教育推進協議会

対象者：県教育委員会、市町村教育委員会の代表、外国語教育推進TT加配配置校及び小学校外国語専科加配配置校の校長、加配教員

目的・内容：外国語教育の推進に係る連携強化のための協議

受講予定者数：90名

## (2) 小学校外国語教育セミナー

対象者：各学校の中学年、高学年の学級担任

目的・内容：県内3会場で研修を行い、中学年の外国語活動及び高学年の外国語科の指導について理解を深める。

受講予定者数：240名

外部専門機関との関わり：宮崎大学の准教授等による助言

## (3) 英語枠採用教員等の資質向上研修

対象者：英語枠採用職員

目的・内容：外国語教育に係る専科指導の在り方等についての指導力向上

受講予定者数：20名

外部専門機関との関わり：宮崎大学の教授等による講義・演習

## (4) 生徒の発信力育成のための外国語教育に係る中高授業研究会

対象者：県立学校及び中学校教諭等

目的・内容：中学校、高等学校の授業公開、中学校・高等学校の系統的なパフォーマンステストの実施、研究協議及び発信能力育成のための中高授業改善研修会

受講予定者数：県立学校55名、中学校170名（3ブロックに分けて実施）

外部専門機関との関わり：新学習指導要領に関する講話・ワークショップ

実施内容：授業公開、研究協議、中高教員による合同協議

**(5) 外国語指導助手の指導力等向上研修**

対象者：JETプログラムにより招致している全ALT

目的・内容：外国語指導助手の指導力等向上

基調講演、講義、ティームティーチング等に関する実践発表及び協議（分科会形式）

受講予定者数：65名

外部専門機関との関わり：外部専門機関の講師（予定）による基調講演

**(6) 中央研修受講者による域内研修の実施**

対象者：小学校の中核教員 中学校：未受講者

目的・内容：中央研修における内容

受講予定者数：小学校50名、中学校75名

内容：2時間7セットの計3日間程度の研修

- ・中核教員に対して教師の英語力を測るテスト受検を義務づける。（小中対象）
- ・各種タスクやアクティビティなどの指導方法の理論的背景の理解を促進する。（小中対象）

**(7) 教育課程研究協議会**

対象者：県立学校教諭等

目的：高等学校の学習指導要領の趣旨の実現を目指し、高等学校・中等教育学校の教課程の円滑な実施のために研究協議等を行い、各学校における学習指導の充実・改善を図る。

受講予定者数：県立学校55名

内容：学習指導要領の内容説明及び研究協議

英語教育推進リーダー、パイロット教員及び評価問題作成者による成果発表

**(8) ALT指導力向上研修（ピアオブザペーション）**

対象者：JETプログラムにより招致している来日1年目のALT、及び近隣の来日2年目以降のALT

目的：外国語指導助手の指導力等向上

受講予定者数：14名

内容：ティームティーチングの授業見学及び研究協議

**(9) 資質・能力育成研究会：授業研究部門（県事業）**

対象者：県立学校

目的：英語教育推進リーダー等をパイロット教員に任命し、「主体的・対話的で深い学び」の実践研究の発信を行うことで、授業企画力・授業実践力・授業法評価力を深める。

受講予定者数：県立学校55名

内容：①事前研修（講義）

②研究協議（学習指導案作成）

③研究公開（ALの授業実践公開2回実施）

④事後研修（研究協議）

⑤成果発信（教科部会・研究報告書の集約・HP掲載）

**(10) 資質・能力育成研究会：授業評価部門（県事業）**

対象者：県立学校

目的：「資質・能力」を評価する問題を作成し、その問題を各学校が活用することでこれから求められる「資質・能力」の評価研究や問題作成力の向上を図る。

受講予定者数：県立学校20名

内容：①問題作成検討会（出題方針の確認・問題作成）

②評価問題活用・分析

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	・外国語教育セミナーⅠ（小）	宮崎大学、宮崎国際大学
5月	・外国語教育セミナーⅡ（小） ・資質・能力育成研究会：授業研究部門①（高） ・資質・能力育成研究会：授業評価部門①（高）	
6月	・外国語教育セミナー（小） ・資質・能力育成研究会：授業研究部門②（高）	宮崎大学
7月	・外国語教育セミナー（小） ・域内研修①②③（小） ・資質・能力育成研究会：授業研究部門③（高） ・資質・能力育成研究会：授業評価部門②（高）	
8月	・外国語活動指導者研修会（小） ・域内研修①②③（中） ・教育課程説明会（高）	宮崎大学、宮崎国際大学
9月	・資質・能力育成研究会：授業評価部門③（高）	
10月	・小学校専科講習 ・研究協力校授業公開及び事前研修会（高） ・発信力育成のための中高合同研修会（中部地区）  ・資質・能力育成研究会：授業研究部門④（高） ・ALT指導力向上研修（ピアオブザベーション）	宮崎大学  宮崎大学・宮崎国際大学 南九州短期大学
11月	・研究協力校授業公開及び事前研修会（高） ・発信力育成のための中高合同研修会（北部・南部地区）  ・各校へ2020年度CAN-DOリスト作成依頼（高） ・ALT指導力向上研修（ピアオブザベーション）	宮崎大学・宮崎国際大学 南九州短期大学
12月	・ALT指導力向上研修（ピアオブザベーション） ・資質・能力育成研究会：授業研究部門⑤（高） ・資質・能力育成研究会：授業評価部門④（高）	
1月	・小学校専科講習 ・外国語指導助手指導力等向上研修 ・ALT指導力向上研修（ピアオブザベーション）	宮崎大学 CLAIR
2月	・小学校外国語教育セミナー ・資質・能力育成研究会：授業評価部門⑤（高） ・ALT指導力向上研修（ピアオブザベーション）	宮崎大学
3月	・各校より2020年度CAN-DOリスト提出（高等学校）	
【その他の取組】		

